



こんにちは！いつもお世話になっております。
いまひらです。

さて、不定期にいまひらコラムを発信していましたが、題名をありきたりな「いまひら通信」に改め、不定期に皆様に発信していきたいと思っております。

今回は当ステーションの看護スタッフの自己紹介をしていこうと思います。「こんな人が訪問看護をしている」と知っていただけたら嬉しいです。

訪問リハビリステーションいまひらは3名の看護師が常勤しております。

まず、訪問看護いまひらの創業者であり、管理者のボス太田です。

ちゃきちゃきした関西弁のおばちゃんです。今は在宅看護にどっぷり浸かっていますが、以前は総合病院の手術室の師長をはじめ外科の恐ろしい看護師でした。過酷な経験を持ち、救急を含め技術もピカイチです。肝っ玉が座った訪問看護の母だと思っています。（怖ないで、年取ってずいぶん丸くなったわ～と横で太田が言っております。）

母つながりですがスタッフ木下の実母でもあります。この文章を書いている、今回記載担当の木下（旧姓太田）です。

木下も訪問看護師となり4年目となりました。それまでは金沢の某病院で19年勤務し、勤続20年から退職金が増える前（ちょっと恨み節）に母に誘われこちらに転職しました。母に言われるまで病院を退職するつもりは全くなかったです。木下も生粋の外科人間で外科病棟、透析、外来…皮肉にも一番経験が長いのが手術室勤務でした。似せるつもりはこれっぽっちもなかったのですが、親子は似るものですね。

在宅看護は畑違いで経験がなく、戦々恐々としてこの世界に飛び込みました。何度も辞めたくりましたが、皆様のご指導の下これまで続けることが出来、日々勉強させていただいております。今まで培った経験の上に成り立つ看護

と、笑う門には福来るの精神で常に明るく訪問させていただけたら、と思います。

そんな2人を優しく見守る第三の看護師が柿沼です。柿沼はヒートアップしている太田と木下を現実に戻させる重要な役割を担っています。今やなくてはならない存在です。

柿沼はいまひらに就職して2年目になりました。

都会の大きな病院で経験を積み、石川へ帰ってきました。白山市在住なのに都会の風を感じる時があります。頭脳明晰で筋道を立てて行動でき本当に頼りになります。国語力と言いますか自頭がいいんでしょうね、周りを納得させる話術を持っています。いまひらに溶け込みテキパキと仕事をしてくれます。木下も見習わなければなりません。

ということで、この3人あってこそ訪問看護いまひらが成り立っています。顔合わせれば相談が始まり、改善案をああでもないこうでもないと話し合いへと発展。自然にカンファレンスになります。いまひらは担当制で一人の利用者様を一人の看護師が責任をもってずっと受け持ちます。顔を知らない利用者様でもみんながしょっちゅう話題に出すので経過がよくわかり、担当以外の看護師でもすぐに対応できます。「担当じゃないからわからない」という言い訳はしません。

田舎の小さい訪問看護ステーションですが、小さいからこそ出来る『その人らしい個性のある看護』を実践しています。いまひら創業からのスローガンが『ちょっとおせっかい』です。定型文のようなことはしません。「これは看護師の仕事じゃない」とはまず言わず、専門職として看護に結び付けられる何かを模索します。利用者様を取り巻く環境をチームの一員として皆さんと一緒に作っていかれたら、と思います。

これからもよろしく願いいたします😊

訪問看護 訪問リハビリのお問い合わせはお気軽に
訪問リハビリステーションいまひら まで
おためしの訪問もご相談ください。

TEL 076-275-8020 FAX 076-275-8060

090-9765-8619（管理者直通）

090-6275-8419（リハビリ直通）